

# 鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 70号

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

発行日 2016. 4. 18

編集 芳村恵子

お蔭様で、いよいよ通信も 70 号となりました。いつもご協力、ありがとうございます。

今回は、愛知県での養成講座を受けられた方々にお言葉を頂くことができました。私達も、ご意見を聞かせて頂き、青少年育成アドバイザーとして初心に戻り、心新たにさらに歩み出したいと思えます。

## 日本アドバイザー名古屋養成講座 を終えて

植嶋しのぶ

去る平成 28 年 2 月 26・27 日、アドバイザー養成講座に参加しましたので、その内容・感想を報告いたします。

「キミは志はあるか」・・・開講後の中頃、山本会長からいきなり突き付けられた、まるで心の中を見透かされたような言葉でした。何となくぼんやりと受け身の気持ちで受講してはならない、と現地に到着した時分の眠たかった頭が刺激され、二日間の講座はシャッキリとしました。

まず、「青少年」と定義される人たちは誰かを考える機会を得ました。過去においての「青年」とは 22 才から 35 才まで、現在は 39 才までとされているそうです。なぜ 39 才までと延ばされたのか。少子化による対象の拡大？いわゆる“未熟な大人”が増えているから？

青年とは・・・年齢ではない、中身だ、青さだ、未熟さだ、などと考えさせられました。生きている限り死ぬまで、何か

に、誰かに教を乞うてやっと成熟していける。自分もまた成熟段階の途中です。青年!!です。

青少年の発達過程において、生物的発達、心理的発達に加え社会的発達が重要であることも学びました。

「人」が生まれて成長し「人間」になるには社会性が不可欠であり、社会環境は人間育成に大きく影響すると感じます。そして、生まれた瞬間から成長・発達が始まっているのですから、「教育・育成」も早い時期に、つまり、乳幼児期、幼児期の教育が必要と考えられます。ここでいう教育とは、教え込む教育ではなく自らが触れて、見て、感じて、聞いて、匂って、五感を豊富に使い養うことから始まると思います。



また、人の成長は受け身ではなく自主性を以ってさらに“成長”を促がすことを学びました。そのひとつとして、参画型の活動は能動性、有能性、コミュニケーション能力を養うために有用だと痛感しました。

本来、さまざまなチャンスはすべての子どもたちに平等に与えられるべきで、すべての子ども達を大人が守ってあげなければならない。

次ページに続く

どこにいても、どんな環境でも、どんな障害を持っていても、どんなに無関心な子でもです。けれどもそれが本当に可能なのか、課題も見いだされました。

しかし、できることから行動に移している若い講師の方々のお話は、アウトリーチを実践・研究しておられ、私たちのこれからの方向性を示していただきました。

学んだのは決して講習会の場面だけではありませんでした。

この講座に集結した様々の立場と考えを持った方々と語り合ううちに、今さらながらに子どもを育てることの難しさ、大切さ、面白さ、そして、行き場のない悲しさにも感銘しました。

例えば、知的発達障害を持って生まれてきた子に対して母親はどう育てていかわからないまま、その上適切な乳幼児教育がなされないままに児童期を迎えた子と向き合っておられる施設職員の方がいました。また、自分の活動時間を十分に得るために企業を立ち上げ時間を作り、行動しておられる方とも出会いました。

お話を聞かせて頂き、こんな考え方もある、こんな行動の仕方もある、こんな生きざまもあるんだと、狭い鳥取県狭い職域の考えに留まったまま人生を終えるのはもったいないと感じています。

「出会い」は新しい知見を得、学びをもたらせてくれます。「ありがとう」です。

そして、自分にもできることは何かあるか、志は何か。今までの町内での活動に加えて、もうひと押し具体的な課題をかがげてみたいと思います。

## 青少年育成アドバイザー

### 養成講座講習会に参加して

松原 厚子

平成 28 年 2 月 26 日～28 日、愛知県岡崎市の愛知県青年の家を会場に 2 泊 3 日の講習会が行われ、北海道から沖縄県までの“青少年育成”をキーワードに新受講者 36 名、再受講者 31 名が集まり、色々な講義を受けました。

講義の内容は、

- ・子ども・若者育成支援推進法
  - ・インターネット現状と問題
  - ・青少年の発達の特徴と課題
  - ・カウンセリング
  - ・青少年育成アドバイザーの役割
  - ・活動事例発表
- でした。

意見交換会では、「第一グループ 青少年の居場所作りやニート・引きこもりの現状と向かい方を学ぶ」に参加しました。

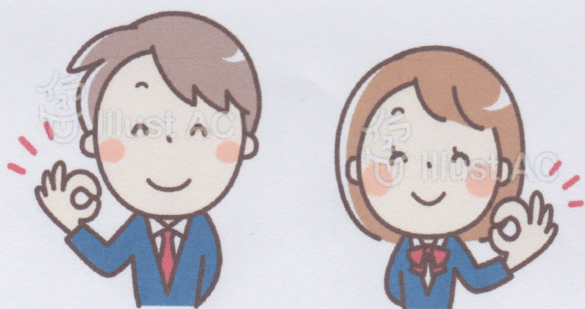
日頃、仕事として、またボランティアとして青少年に係っておられる方々と、活発な話し合いが出来、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。元気なパワーを沢山いただき、今後も青少年活動に頑張っていこうと改めて思います。

ところで今現在、困り感を持って毎日を過ごしている子ども達は、どこでどうしているのだろうか。

なかなか、子ども達の姿や考え方が表に出てこない。話を聞いて貰うことで、何かが変わると思うのだが…。

どこへ行けば話を聞いて貰えるのかや、困った時の頼みになる情報がその子ども達に届いているのだろうか、考えてしまう。

次ページに続く





19610221 - 0100

これからも、子ども達の困りごとを軽くする橋渡しができる自分になるように、色々な人の話を聞いたり学習を続けていきたいと思う。

本当に有意義な3日間でした。いっぱいしゃべって、笑って…。まだまだ、たくさん話をしたいと思いつつ、次に出会うのを楽しみに会場を後にしました。

桜はすっかり葉桜となってしまいましたが、足元に目をやればあちこちにタンポポが咲いています。

そこで、すでにご存じの方もいらっしゃいますが、植物豆知識をひとつ。

「西洋たんぽぽと日本たんぽぽ」



花の下部、「総ほう」と呼ばれる部分に明らかな違いがあります。

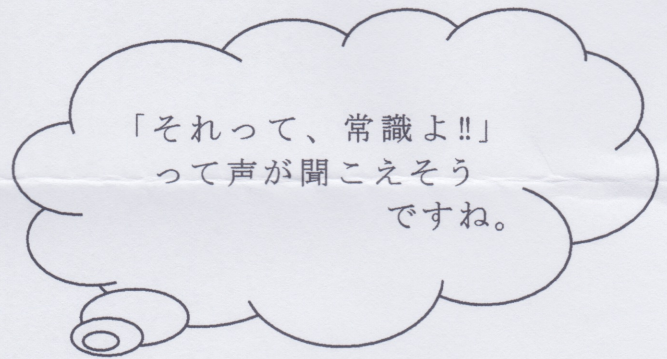
絵に見られるように西洋たんぽぽは総ほうの外側が反りかえっています。白花たんぽぽをはじめ、日本のたんぽぽにはこの反りかえりがありません。

なお、西洋たんぽぽは単為生殖といって雌しべが受粉しなくても種子ができるので群れをつくる必要がありません。また、アルカリにも強くコンクリートの多い都会地にもよく育ちます。

種子の重さは、在来のたんぽぽの半分ほどのため、よく風に乗って飛びます。それだけに繁殖力が強いと言えます。

地域によっては真冬でも開花し、綿毛を見ることができます。

とのことですよ。



編集後記

九州地方のこの度の大地震、何という悲惨な事でしょう。次々に起こる大自然の驚異に身の竦む思いです。

被災者の皆さまに、お見舞い申し上げますとともに、少しでも早く復旧に取り掛かれることを願うばかりです。

こうして、通信70号を発行できることの幸せを感じています。次回は、7月頃を予定しています。アドバイザーの皆様よりの原稿を楽しみにしています。

宜しく願いいたします。